

(様式第9)

事務連絡
平成21年10月2日

厚生労働大臣 殿

三重大学医学部附属病院長
竹 田

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	20.6 人
--------	--------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
→ 別紙参照 (様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常勤	非常勤	合 計	職 種	員数	職 種	員数
医 師	190人	110人	296.8人	看護業務補助者	67人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	13人	21.0人	理学療法士	6人	臨床検査 査	臨床検査技師 47人
薬 剤 師	21人	21人	41.0人	作業療法士	2人		衛生検査技師 1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人		そ の 他 2人
助 産 師	17人	1人	17.2人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	328人	94人	389.2人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	4人	7人	7.6人	栄 養 士	0人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	0人	5人	4.0人	歯科技工士	2人	事 務 職 員	148人
管理栄養士	5人	2人	6.5人	診療放射線技師	31人	そ の 他 の 職 員	23人

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	497.9人	11.2人	509.1人
1日当たり平均外来患者数	1027.1人	85.1人	1112.2人
1日当たり平均調剤数	569.9剤		

9 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況、医療に係る安全管理を行う部門の設置状況

→ 別紙参照（様式第13の2）

10 病院内の患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況、医療に係る安全管理のための指針の整備状況

→ 別紙参照（様式第13の2）

11 安全管理の体制確保のための委員会の開催状況、安全管理の体制確保のための職員研修の開催状況

→ 別紙参照（様式第13の2）

12 医療機関内における事故報告等の整理 → 別紙参照（様式第13の2）

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療（心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児心超音波検査（産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	30人
・顎顔面補綴（腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の徳級顎的治療（顎関節症（顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。）に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法（神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法（歯冠部蝕蝕の修復に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板減圧術（内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定（白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法（手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・CTガイド下気管支鏡検査（肺腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断（アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断（頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・HDR法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん（根治度Cの胃がんを除く。）、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断（子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝部分切除（肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する陽子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術（内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術（主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術（一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法（閉塞性動脈硬化症又はパージャーカー病（従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。）に係るものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・ミトコンドリア病のDNA診断（高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。）	有・無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術（透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは肩関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。）	有・無	0人
・神経変性疾患のDNA診断（ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。）	有・無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術（再発翼状片、角膜上皮欠損（角膜移植によるものを含む。）、角膜穿孔、角膜化学熱傷、角膜癒着（ステロイドによるものを含む。）、結膜上皮過形成又は結膜腫瘍その他の眼の疾患に係るものに限る。）	有・無	0人
・重粒子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術（原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。）	有・無	0人
・31磷一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断（糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。）	有・無	0人
・神経芽腫のRNA診断	有・無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療（腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛（保存治療に抵抗性のものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断（BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。）	有・無	0人
・骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体空素処理骨移植	有・無	0人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術（インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。）	有・無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断（マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。）	有・無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断（急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。）	有・無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術（経皮的冠動脈形成術（エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。）による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。）	有・無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法（原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術（膀胱尿管逆流症（国際分類グレードVの高度逆流症を除く。）に係るものに限る。）	有・無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術（泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。）	有・無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植（HLA適合ドナーがいなかったために造血幹細胞移植が受けられない小児がん、難治性造血障害又は免疫不全症にかかる者に限る。）	有・無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術（頸椎椎間板ヘルニア（画像診断上椎間板に繊維輪の破綻して後縦帯が縮小し、神経根症又は脊髄症が明らかならば保存治療に抵抗性のもの（後縦帯骨化症、椎管狭窄状態又は脊髄症のあるものを除く。））に係るものに限る。）	有・無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断（水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。）	有・無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーカー病（重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・末梢血単核球移植による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー性病（従来の既往又は未治療又は外科的治療が無効であるものを除く。）に三以内の悪性限る。）	有・無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術（双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例（妊娠十六週から二十六週に限る。）に係るものに限る。）	有・無	0人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法（肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。）	有・無	0人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断（ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。）	有・無	0人
・超音波骨折治療法（四肢の骨折（治療のために手術中に行われるものを除く。）のうち、観血的手術を実施したもの（開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法（ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。）	有・無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存（骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性（欠損性又は感染性偽関節）に再建術後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時（初回又は再置換術時）に不安定性）の広範骨欠損、脊椎固定術時的人工骨融合促進又は靭帯断裂による不安定性に係るものに限る。）	有・無	0人
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術（難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。）	有・無	0人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価（骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍摘除術後若しくは骨髄炎摘除術後の症状に係るものに限る。）	有・無	0人
・膀胱水圧拡張術（間質性膀胱炎に係るものに限る。）	有・無	0人
・色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	0人
・先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	0人
・歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法（歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。）	有・無	0人
・セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術（人工股関節のたるみに係るものに限る。）	有・無	0人
・腹腔鏡下直腸固定術（直腸脱に係るものに限る。）	有・無	0人
・骨移動術による関節温存型再建（骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。）	有・無	0人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション（原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。）	有・無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん又は大腸がん）、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。）	有・無	0人
・自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・無	0人
・自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・無	0人
・リアルタイムPCRを用いた迅速診断（EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術（尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍（精巣がんから転移したものに限る。）又は骨盤リンパ節腫瘍（泌尿器がんから転移したものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	0人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障に係るものに限る。）	有・無	0人
・先天性難聴の遺伝子診断（遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。）	有・無	0人
・フェニルケトン尿症の遺伝子診断（フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。）	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)) に病来 に権限 ないもの に限る。)	有・無	0人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	0人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	0人
・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	0人
・RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	0人
・角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	0人
・強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
・マイクログ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必須な場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の悪性疾患に罹患しているものに限る。)	有・無	0人
・抗EGFR抗体薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	0人
・光トポグラフィ及び傷統分わに 第名病2(気疑の	有・無	0人
・内視鏡下着穿に に色に 査法	有・無	0人
・菌科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	0人
・大腸腫瘍切除術(早期大腸がん(EMR)の内視鏡的切除術)又は後上腸がん(EMR)の内視鏡的切除術)による大腸がんの根治的切除術(早期大腸がん(EMR)の内視鏡的切除術)又は後上腸がん(EMR)の内視鏡的切除術)による大腸がんの根治的切除術	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	5人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
・カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	193人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	25人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・内視鏡下甲状腺がん手術（手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法（転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫（診断の確実なものに限る。）に係るものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	33人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法（一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法（二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡補助下肝切除術（部分切除及び外側区域切除を除く。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援（前立腺がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	0人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	70人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	34人
・多発性硬化症	48人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	126人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	31人
・全身性エリテマトーデス	469人	・多系統萎縮症	4人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人
・再生不良性貧血	64人	・膿疱性乾癬	10人
・サルコイドーシス	101人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	54人	・原発性胆汁性肝硬変	105人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	278人	・重症急性膵炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	93人	・特発性大腿骨頭壊死症	1人
・結節性動脈周囲炎	15人	・混合性結合組織病	32人
・潰瘍性大腸炎	235人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	23人	・特発性間質性肺炎	15人
・ビュルガー病	0人	・網膜色素変性症	41人
・天疱瘡	55人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	52人	・原発性肺高血圧症	18人
・クローン病	91人	・神経繊維腫症	16人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	12人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	38人
・パーキンソン病関連疾患	243人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	24人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	56人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に	1回程度	(3種類の検討会)
	1か月に	2回程度	(1種類の検討会)
	1か月に	1回程度	(2種類の検討会)
剖検の状況	剖検症例数	48例	剖検率 20.3%

高度の医療技術の開発及び評価の実績 (平成20年度)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
多価性がんワクチン	珠玖 洋	がんワクチン講座	21,100	補 科学研究費補助金
ヒト認知機能を障害させる遺伝子異常を持つモデル動物の作出とその病態解析	岡田 元宏	精神病態学	3,700	補 科学研究費補助金
脳動脈瘤血管内治療に用いる新規デバイスの開発研究	滝 和郎	脳神経外科学	5,000	補 科学研究費補助金
がんの骨転移に対する包括的分子生物学治療	内田 淳正	病態修復医学講座	2,800	補 科学研究費補助金
DIF・PDEシグナルをターゲットとした悪性黒色腫細胞に対する分子標的薬の開発	村田 琢	歯科口腔外科	3,200	補 科学研究費補助金
強心作用に関する新しい分子機序の解明、病態との関連解析と新しい治療法への応用	伊藤 正明	循環器内科学	2,800	補 科学研究費補助金
アクリジン色素とストロボ光を用いた骨・軟部肉腫の同時・瞬間的診断治療戦略の開発	楠崎 克之	整形外科	2,500	補 科学研究費補助金
子宮内環境の悪化に起因する成長後の各種疾患発症機序の解析とその予防法の開発	佐川 典正	生殖病態生理学	4,800	補 科学研究費補助金
悪性腫瘍における治療選択検査と分子標的治療の開発:プリン代謝酵素欠損モデル	登 勉	臨床検査医学	5,000	補 科学研究費補助金
パーキンソン病における酸化ストレス誘導神経細胞死の新規解明と予防法の確立	及川 伸二	環境分子医学	5,200	補 科学研究費補助金
口腔悪性腫瘍に対するPDE2関連シグナル・遺伝子治療	田川 俊郎	口腔・顎顔面外科学	6,600	補 科学研究費補助金
開発途上国のアルツハイマー病及び生活習慣病の現状とその発症メカニズムを解明する	翠川 薫	神経内科	1,000	補 科学研究費補助金
障害心筋におけるエネルギー代謝異常と心筋バイアビリティ:核医学とMRIによる検討	竹田 寛	非侵襲診断治療学	900	補 科学研究費補助金
冠動脈MRAと心筋パーフェュージョンMRI定量解析による冠動脈疾患の総合的評価	佐久間 唯	中央放射線部	700	補 科学研究費補助金
亜鉛代謝からみた膵広範切除後脂肪肝発症機序の解明と治療	伊佐地 秀司	肝胆臓・移植外科学	600	補 科学研究費補助金
スギ花粉症の新規治療法・舌下免疫療法臨床評価と効果判定法の研究	湯田 厚司	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	800	補 科学研究費補助金
高温曝露時(熱中症)における脳・心臓の急性反応の形態学的・分子生物学的検索	那谷 雅之	法医学科学	1,700	補 科学研究費補助金
上皮間葉移行の気道リモデリングへの関与とその制御方法に関する検討	小林 哲	呼吸器内科	1,700	補 科学研究費補助金
ヒト単球のランゲルハンス細胞への運命決定における皮膚組織環境の重要性	片山 直之	造血病態内科学	1,500	補 科学研究費補助金
パニック障害の生物学的マーカーの開発	谷井 久志	精神病態学	700	補 科学研究費補助金
機械的脳塞栓・血栓除去用機材の開発と手技の確定に関する研究	朝倉 文夫	脳神経外科	900	補 科学研究費補助金
間質細胞内TGFβ/BMPシグナルに制御される前立腺の異常増殖機構	石井 健一朗	腎泌尿器外科学	1,000	補 科学研究費補助金
胚性幹細胞から誘導された神経堤幹細胞及び歯胚(歯嚢)の幹細胞を用いた硬組織再生	山崎 英俊	再生統御医学	800	補 科学研究費補助金
腎特異的酸化ストレスによる尿管薬物トランスポータの発現・機能変動とその役割	奥田 真弘	薬剤部	2,600	補 科学研究費補助金
比較定量ペプチドミクスによる肝疾患病態責任分子の解析と新規バイオマーカーの探索	白木 克哉	消化器内科学	1,500	補 科学研究費補助金
遺伝子改変マウスを用いた肺高血圧症発症機序の解明と新規治療法の開発	丸山 淳子	医学医療教育学	1,500	補 科学研究費補助金
紀伊半島のALSとパーキンソン病重複におけるSNPs解析による発病因子の検討	小久保 康昌	神経病態内科学	1,400	補 科学研究費補助金
マウス慢性脳低灌流モデルに対するヒト胚性幹細胞由来血管前駆細胞移植	富本 秀和	神経病態内科学	2,600	補 科学研究費補助金
造血幹細胞由来細胞から肝星細胞への分化機序の解明:新規肝線維症治療法を目指して	梶屋 正浩	造血病態内科学	1,600	補 科学研究費補助金
スギ花粉アレルギーに対する抗原特異的抑制性T細胞の誘導の検討	山中 恵一	皮膚科	2,700	補 科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
遺伝子型からみた生体肝移植におけるテラーメド治療	白井 正信	肝胆膵・移植 外科学	2,000	補 科学研究費補助金
脳動脈瘤破裂リスクを予測するための4次元CT血管造影法の開発	松島 聡	脳神経外科学	2,100	補 科学研究費補助金
肉腫肺転移に対する、デコリンを用いた画期的な治療戦略の確立	松峯 昭彦	整形外科	2,400	補 科学研究費補助金
MAGE-A4 特異的T細胞受容体導入 γ δ T細胞を用いた再発卵巣がんの免疫細胞療法	日浅 厚則	産婦人科	1,600	補 科学研究費補助金
悪性骨軟部腫瘍の光線力學療法における新たな腫瘍親和性光感受性物質の開発	楠崎 克之	整形外科	700	補 科学研究費補助金
前立腺形態発生に関わる脈領域特異的遺伝子の解析	杉村 芳樹	腎泌尿器外科 学	1,200	補 科学研究費補助金
血中ホモシステイン測定によるロイコボリン投与スケジュールの個別化に関する研究	登 勉	臨床検査医学	1,500	補 科学研究費補助金
呼吸中枢未熟ラットにおける吸気炭酸ガス反応性の検討ー乳幼児突然死症候群との関連	成田 正明	発生再生医学	1,900	補 科学研究費補助金
糖尿病合併妊娠における酸化ストレス・アポトーシスによる先天奇形発生機序の解明	杉山 隆	周産母子セン ター	1,900	補 科学研究費補助金
未破裂脳動脈瘤に対するテラーメドステント治療法の開発	滝 和郎	脳神経外科学	1,300	補 科学研究費補助金
ES細胞分化でのphosphodiesteraseの役割	田川 俊郎	口腔・顎顔面 外科学	1,800	補 科学研究費補助金
血栓溶解療法時における低体温療法併用の有用性	矢田 健一郎	産業医学・中毒学 プロジェクト研究 室	900	補 科学研究費補助金
非侵襲脳計測を用いたパニック障害発症に関わる神経ネットワークの解明	西村 幸吾	精神科神経科	1,500	補 科学研究費補助金
脂肪肝からの肝移植は可能となるかー虚血再灌流障害から移植まで動物モデルを使ってー	岸和田 昌之	肝胆膵外科	1,080	補 科学研究費補助金
肺高血圧における神経堤由来細胞と骨髄由来細胞の関与：遺伝子改変マウスを用いた検討	大橋 啓之	小児科	1,300	補 科学研究費補助金
多核白血球機能評価から検討した腹腔内癒着防止材の腹腔内感染への影響に関する研究	井上 幹大	小児外科	600	補 科学研究費補助金
外傷性嗅覚障害に対する嗅覚再生治療のための基礎研究	小林 正佳	耳鼻咽喉・頭 頸部外科	300	補 科学研究費補助金
上気道慢性炎症でのリモデリングにおけるTGF β 1の役割	石永 一	耳鼻咽喉・頭 頸部外科	1,100	補 科学研究費補助金
糖尿病網膜症における小胞体ストレスの役割	生杉 謙吾	眼科	1,100	補 科学研究費補助金
拡張期心不全患者における運動耐用能と運動時拡張能の検討	田辺 正樹	感染制御部	1,700	補 科学研究費補助金
高齢うつ病の病態生理の解明(EEG/ERP)の双極子解析とMRIによる統括的研究	松本 卓也	精神科神経科	2,600	補 科学研究費補助金
がんワクチン療法患者における腫瘍破壊モニタリングとしての免疫応答拡大の測定	北野 滋久	北野 滋久	1,700	補 科学研究費補助金
心筋虚血再灌流障害の発生機序の研究ーTLR4のシグナル細胞内伝達経路の解明ー	庄村 心	システム神経 科学	900	補 科学研究費補助金
頭頸部血管病変に対する冷却バルーンの内服応用及び頭頸部血管専用冷却バルーンの開発	藤本 昌志	脳神経外科学	2,100	補 科学研究費補助金
プロアテーゼ活性化受容体を標的とした椎間板変性に対する治療法の開発	明田 浩司	リハビリテー ション部	2,200	補 科学研究費補助金
臍帯血を用いる造血幹細胞移植技術の高度化と安全性確保に関する研究	東 英一	細胞移植療法 部	1,000	補 科学研究費補助金
医療安全に係るコミュニケーションスキルに関する研究ー患者ハラスメントに焦点をあててー	永見敏浩	安全管理部	2,000	補 科学研究費補助金
労働者のメンタルヘルス不調の予防と早期支援・介入のあり方に関する研究	竹村洋典	総合診療部	600	補 科学研究費補助金
小児がんに対する標準治療・診断確立のための研究	出口隆生	小児科	1,000	補 科学研究費補助金
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	成田有吾	医療福祉支援 センター	900	補 科学研究費補助金
健康小児を対象とした臨床試験[沈降不活化インフルエンザワクチン]	西川政勝	臨床研究開発 センター	10,300	補 科学研究費補助金
新型インフルエンザプレパレンダミックワクチンの安全性・免疫原性および交叉免疫性に関する研究	西川政勝	臨床研究開発 センター	18,750	補 科学研究費補助金
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松峯昭彦	整形外科	600	補 科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	山門亨一郎	放射線治療科	800	補 科学研究費補助金
NK細胞腫瘍に対する東アジア多国間治療研究	山口素子	血液内科	500	補 科学研究費補助金
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	山口素子	血液内科	1,200	補 科学研究費補助金
リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	山口素子	血液内科	1,200	補 科学研究費補助金
リアルタイムモニター花粉数の情報のあり方の研究と舌下ペプチド・アジュバント療法の臨床研究	湯田 厚司	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,500	補 科学研究費補助金
組織修復・再生を補足する機能性生体材料の開発	菅麻 直樹	脳神経外科学	2,400	補 科学研究費補助金
神経変性疾患に関する調査研究	小久保 康昌	神経病態内科学	1,000	補 科学研究費補助金
肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症の院内発症予防ガイドライン公開後の評価ならびに改定と普及・推進に関する研究	中野 魁	名誉教授	1,100	補 科学研究費補助金
メタボリックシンドロームの保健指導に歯科的な観点を導入することの効果に関する研究	田川 俊郎	口腔・顎顔面外科学	700	補 科学研究費補助金
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための他施設共同研究	山口 素子	血液内科	1,200	補 科学研究費補助金
環境化学発がん物質の曝露評価法の開発と発がんリスク評価に関する研究	平工 雄介	環境分子医学	1,400	補 科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治的術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	杉村 芳樹	腎泌尿器外科学	300	補 科学研究費補助金
抗腫瘍抗原ペプチドの臨床への導入に関する研究	影山 慎一	道伝子・免疫細胞治療学講座	1,400	補 科学研究費補助金
転移性骨腫瘍に対する低侵襲手術の開発	内田 淳正	病態修復医学講座	3,500	補 科学研究費補助金
内分泌かく乱化学物質の生体影響メカニズムに関する総合研究	杉村 芳樹	腎泌尿器外科学	2,000	補 科学研究費補助金
血液凝固異常症に関する調査研究	和田 英夫	臨床検査医学	1,000	補 科学研究費補助金
思春期精神病理の疫学と精神疾患の早期介入方策に関する研究	谷井 久志	精神病態学	1,000	補 科学研究費補助金
労働者のメンタルヘルス不調の予防と早期支援介入のあり方に関する研究	岡田 元宏	精神病態学	1,200	補 科学研究費補助金
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究	須藤 啓広	病態修復医学講座	5,000	補 科学研究費補助金
乳幼児突然死症候群(SIDS)における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に関する研究	成田 正明	発生再生医学	1,200	補 科学研究費補助金
	83件		171,030	

2. 論文発表等の実績

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointest Endosc (2009. 2. 26)	Wernicke's encephalopathy caused by pyloric stenosis after endoscopic submucosal dissection.	K. Takei	消化器内科
N Engl J Med 359: 293, 2008	Images in Clinical Medicine. Sclerosing Peritonitis.	K. Shiraki	消化器内科
Dev Cell: 787-797, 2008	Myosin Phosphatase-Targeting Subunit 1 Regulates Mitosis by Antagonizing Polo-like Kinase 1.	M. Ito	循環器内科
Hepatology 48: 70-79, 2008	Human Leukocyte Antigen Class II Associations with Hepatitis C Virus Clearance and Virus-specific CD4 T Cell Response Among Caucasians and African Americans.	K. Sugimoto	消化器内科
J Am Soc Nephrol 19: 1692-1700, 2008	Irradiation Prolongs Survival of Alport Mice.	K. Katayama	血液浄化療法部
Eur Heart J 29: 569, 2008	A Case of Clover-shaped Left Ventricular Non-compaction.	M. Ito	循環器内科
Radiology 247: 260-266, 2008	Early-stage Hepatocellular Carcinoma: Radiofrequency Ablation Combined with Chemoembolization versus Hepatectomy.	K. Shiraki	消化器内科
Atherosclerosis 196: 22-28, 2008	High Glucose Induces Plasminogen Activator Inhibitor-1 Expression through Rho/Rho-kinase-mediated NF- κ B Activation in Bovine Aortic Endothelial Cells.	M. Ito	循環器内科
Am Heart J 156: 1010-1018, 2008	Long-term Clinical Outcome after Intramuscular Implantation of Bone Marrow Mononuclear Cells (Therapeutic Angiogenesis by Cell Transplantation [TACT] trial) in Patients with Chronic Limb Ischemia.	M. Ito	循環器内科
Am J Cardiol 101: 1206-1212, 2008	Role of Radial Strain and Displacement Imaging to Quantify Wall Motion Dyssynchrony in Patients with Left Ventricular Mechanical Dyssynchrony and Chronic Right Ventricular Pressure Overload.	M. Ito	循環器内科
Am J Cardiol 102: 1545-1550, 2008	Relation of Elevation in Cardiac Troponin I to Clinical Severity, Cardiac Dysfunction, and Pulmonary Congestion in Patients with Subarachnoid Hemorrhage.	M. Tanabe	感染制御部
Aliment Pharmacol Ther 27: 1253-1260, 2008	Predictive Factors for Distant Recurrence of HCV-related Hepatocellular Carcinoma after Radiofrequency Ablation Combined with Chemoembolization.	K. Shiraki	消化器内科
Hypertens Res 31: 257-263, 2008	Patients with a Hypertensive Response to Exercise Have Impaired Left Ventricular Diastolic Function.	K. Dohi	循環器内科
Hypertens Res 31: 679-984, 2008	Exaggerated Hypertensive Response to Exercise in Patients with Diastolic Heart Failure.	K. Onishi	臨床検査医学
Hypertens Res 31: 1486, 2008	Response to: Study of Left Ventricular Long Axis Function in Patients with Hypertensive Response to Exercise.	K. Dohi	循環器内科
Hypertens Res 31: 1727-1735, 2008	Hemodynamic Characteristics of Patients with Diastolic Heart Failure and Hypertension.	N. Yamada	循環器内科
Int J Cardiol 127: e8-e11, 2008	Improvement of Left Ventricular Mechanical Dyssynchrony Associated with Restoration of Left Ventricular Function in a Patient with Fulminant Myocarditis and Complete Left Bundle Branch Block.	K. Dohi	循環器内科
Int J Cardiol 129: e21-e23, 2008	Two Cases of Dilated Cardiomyopathy with Right Ventricular Wall Degeneration Demonstrated by Late Gadolinium Enhanced MRI.	K. Onishi	臨床検査医学
Biochem Biophys Res Commun 368: 116-120, 2008	Role of Thrombin in Interleukin-5 Expression from Basophils.	O. Taguchi	呼吸器内科
Circ J 72: 287-292, 2008	The Günther-Tulip Retrievable IVC Filter: Clinical Experience in 118 Consecutive Patients.	M. Nakamura	病態解析内科学
Circ J 72: 378-383, 2008	Correlation between Late Gadolinium Enhancement and Diastolic Function in Hypertrophic Cardiomyopathy Assessed by Magnetic Resonance Imaging.	K. Onishi	臨床検査医学
Int J Oncol 33: 929-936, 2008	Dual Topology of Functional Toll-like-receptor 3 Expression in Human Hepatocellular Carcinoma; Differential Signaling Mechanisms of TLR3-induced NF- κ B Activation and Apoptosis.	K. Shiraki	消化器内科
Respir Med 102: 1287-1295, 2008	A Prospective Comparison of Nursing Home-acquired Pneumonia with Hospital-acquired Pneumonia in Non-intubated Elderly.	O. Taguchi	呼吸器内科
J Am Soc Echocardiogr 21: 1382-1388, 2008	Echocardiographic Speckle Tracking Radial Strain Imaging to Assess Ventricular Dyssynchrony in a Pacing Model of Resynchronization Therapy.	M. Tanabe	感染制御部

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
Thromb Res 121: 849-854, 2008	ADAMTS13 Related Markers and Von Willebrand Factor in Plasma from Patients with Thrombotic Microangiopathy (TMA).	S. Nomura	血液浄化療法部
Int J Mol Med 22: 43-48, 2008	Protective role of interleukin-18 against Fas-mediated liver injury.	K. Shiraki	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 23: 482-490, 2008	Survival Rates According to the Cancer of the Liver Italian Program Scores of 345 Hepatocellular Carcinoma Patients after Multimodality Treatments during a 10-year Period in a Retrospective Study.	K. Shiraki	消化器内科
Int J Hematol 87: 250-255, 2008	Negative Predictive Value of D- dimer for Diagnosis of Venous Thromboembolism.	N. Yamada	循環器内科
Int J Hematol 88: 448-453, 2008	Elevated Levels of Soluble Fibrin in Patients with Venous Thromboembolism.	M. Ito	循環器内科
Echocardiography 25: 864-872, 2008	Normal Range of Mechanical Variables in Pulmonary Hypertension: A Tissue Doppler Imaging Study.	K. Dohi	循環器内科
Clin Appl Thromb Hemost 14: 279-285, 2008	Elevated Levels of Prothrombin Fragment 1 + 2 Indicate High Risk of Thrombosis.	N. Yamada	循環器内科
Postgrad Med J 84: 40-45, 2008	Defining Normal Variables of Right Ventricular Size and Function in Pulmonary Hypertension: an Echocardiographic Study.	K. Dohi	循環器内科
Internal Med 47: 119, 2008	Phytobezoars.	K. Shiraki	消化器内科
Internal Med 47: 419-420, 2008	Primary Biliary Cirrhosis Following Chemotherapy for Hodgkin's Lymphoma.	N. Yamamoto	消化器内科
Intern Med 47: 747-749, 2008	Type 1 Diabetes Mellitus Provoked by Peginterferon α -2b Plus Ribavirin Treatment for Chronic Hepatitis C.	N. Yamamoto	消化器内科
Hepatogastroenterology 55: 1407-1411, 2008	Splenectomy Improves Liver Function in Patients with Liver Cirrhosis.	K. Shiraki	消化器内科
Vasc Dis Prevent 5: 81-88, 2008	Cutoff Values of D-Dimer and FDP in Plasma for the Diagnosis of Thrombosis.	N. Yamada	循環器内科
Vasc Dis Prevent 5: 227-233, 2008	Elevated Levels of Soluble Fibrin in Patients with Thrombosis or a Pre- Thrombotic State.	N. Yamada	循環器内科
World J Gastroenterol 14: 941-943, 2008	Familial Occurrence of Congenital Bile Duct Dilatation.	K. Shiraki	消化器内科
Clin Exp Nephrol 12: 421-431, 2008	Proposal of Podocytic Infolding Glomerulopathy as a New Disease Entity: a Review of 25 Cases from Nationwide Research in Japan.	S. Nomura	血液浄化療法部
Clin Exp Nephrol 12: 513-517, 2008	Unusual Glomerulopathy with Aggregated Subepithelial Microspheric Particles Resembling Membranous Nephropathy: a Variant of Glomerulopathy Associated with Podocytic Infolding?	S. Nomura	血液浄化療法部
J Artif Organs 11: 165-169, 2008	Molecular Weight of Polydisperse Icodextrin Effects Its Oncotic Contribution to Water Transport.	S. Nomura	血液浄化療法部
Circ J 71: 327-330, 2008	Higher Serum Tenascin-C Levels Reflect the Severity of Heart Failure, Left Ventricular Dysfunction and Remodeling in Patients with Dilated Cardiomyopathy.	K. Onishi	臨床検査医学
Blood (2009. 1)	Gene expression profiling of peripheral T-cell lymphoma including gammadelta T-cell lymphoma.	K. Miyazaki	血液・腫瘍内科
Br J Haematol (2008. 8)	Gene expression profiling of diffuselarge B-cell lymphoma superrised by CD21 expression.	K. Miyazaki	血液・腫瘍内科
Hematologica (2008. 8)	De novo CD5+ diffuse large B-cell lymphoma: results of a detailed clinicopathological review in 120 patients.	M. Yamaguchi	血液・腫瘍内科
Cancer Sci (2008. 5)	Phase I study of dexamethasone, methotrexate, ifosfamide, L-asparaginase, and etoposide (SMILE) chemotherapy for advanced-stage, relapsed or refractory extranodal natural killer (NK)/T-cell lymphoma and lenkenia.	M. Yamaguchi	血液・腫瘍内科
臨床病理 (2008. 4)	脂肪抑制MRI T2強調画像で病巣側に“tram-tracle” signと“dunut configuration” がみられたTolosa-Hun症候群.	A. Tamura	神経内科
J Neurol Sci. 276:148-52	Care burden and depression in caregivers caring for patients with intractable neurological diseases at home in Japan.	Y. Narita	神経内科
J. Clin Neuromuscul Dis 10(2):37-41	Inter-examiner variance of median nerve compound muscle action potential measurements in hand position with and without fixation in plaster.	Y. Narita	神経内科

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
Mov Disord. 23:2344- 2348, 2008	Mutation analyses in amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-dementia complex of Kii, Japan.	Y. Kokubo	神経内科
Mov Disord. 24:1:123- 126, 2008	Increased oxidative stress in patients with amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-dementia complex in the Kii peninsula, Japzn.	Y. Kokubo	神経内科
The Neurologist 2009 Jul;15(4):220-2	Juvenile Muscular Atrophy of the Distal Upper Extremity (Hirayama Disease) in Two Lanky Look-Alike Brothers.	Y. Kokubo	神経内科
Eur Neurol 2009;61:50-51	Anti-N-methyl-D-aspartate receptor-related grave but reversible encephalitis with ovarian tertoma in two Japanese women presenting with excellent recovery without tumor resection.	Y. Kokubo	神経内科
Am J Med Genet Part B Neuropsychiatric Genetics	TRPM7 is not associated with amyotrophic lateral sclerosis-parkinsonism dementia complex in the Kii peninsula of Japan.	Y. Kokubo	神経内科
Rheumatology International 2008;28:1277- 1280	Reversible stenosis of large cerebral arteries in a patient with combined Sjogren's syndrome and neuromyelitis optica spectrum disorder.	Y. Ii	神経内科
Journal of Clinical Neuroscience 2009;16:106-107	Cervical spinal cord infarction in a patient with cervical spondylosis triggered by straining during bowel movement.	Y. Ii	神経内科
神経治療学 2008, 25:157-162	S状結腸軸捻転を繰り返した日本脳炎後パーキンソニズムの一例	H. Naitou	神経内科
神経治療学 2008, 25:405-408	運動ニューロン疾患の治療の進歩	H. Naitou	神経内科
Lung Cancer. 2009 Jan;63(1):39-44	Immunohistochemical diagnosis of methylthioadenosine phosphorylase (MTAP) deficiency in non-small cell lung carcinoma.	F. Watanabe	呼吸器外科
日本呼吸器外科学 会誌(2009.1)	呼吸器外科手術後、肺血栓栓症とその予防対策.	N. Takao	呼吸器外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2009 Mar;137(3):730-5	Removal of prostaglandin E2 and increased intraoperative blood pressure during modified ultrafiltration in pediatric cardiac surgery.	K. Yokoyama	心臓血管外科
J Vasc Surg (2008.11)	Basic fibroblast growth factor slow release stent-graft for endovascular aortic aneurysm repair.	M. Kajimoto	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Swg (2008.8)	Inhibition of platelet aggregation by combined therapy with aspirin and cilostazol after off-pump coronary artery bypass surgery.	K. Onoda	心臓血管外科
Orthopedics (2008.4)	Bilateral subchondral insufficiency fracture of the femoral head.	A. Sudou	整形外科
J Orthop Sci (2008.9)	Unilateral stress fracture of the femoral shaft combined with contralateral insufficiency fracture of the femoral shaft after bilateral total knee arthroplasty.	R. Niimi	整形外科
J Orthop Surg Res (2008.9)	Prevalence and risk factors for knee osteoarthritis in elderly Japanese men and women.	A. Sudou	整形外科
J Orthop Surg Res (2008.9)	Tadpole system as new lumbar spinal instrumentation.	Y. Kasai	整形外科
Knee (2008.12)	Total knee arthroplasty in osteogenesis imperfecta.	A. Nishimura	整形外科
J Orthop Surg Res (2008.7)	Long-term results of bipolar hemiarthroplasty for osteoarthritis of the femoral head.	S. Muraki	整形外科
In Vivo (2008.5)	Methylene blue in place of acridine orange as a photosensitizer in photodynamic therapy of osteosarcoma.	T. Matsubara	整形外科
J Cancer Res Clin Oncol (2008.10)	Usefulness of limb salvage surgery for bone and soft tissue sarcomas of the distal lower leg.	R. Niimi	整形外科
J Surg Oncol (2008.5)	A new limb salvage surgery in cases of high-grade soft tissue sarcoma using photodynamic surgery, followed by photodynamic therapy with acridine orange.	T. Nakamura	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg (2008.7)	Sub chondral insufficiency fracture of the second metatarsal head in an elderly women treated with autologous osteochondral transplantation.	M. Tsujii	整形外科
Liver Int 2009.2	Activated protein C prevents hepatic ischaemia-reperfusion injury in rats.	N. Kuriyama	肝胆膵外科

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepato-biliary Pancreat S 2009. 3	Tissue factor expression demonstrates severe sinusoidal endothelial cell damage during rejection after living-donor liver transplantation.	M. Usui	肝胆膵外科
Clin Transplant, 2009. 3	Assessment of liver graft function and regeneration by galactosyl-human serum albumin (99mTc-GSA) liver scintigraphy in adult living-donor liver transplantation.	S. Isaji	肝胆膵外科
J Thromb Haemost, 2008. 11	Regulatory mechanisms of C4b-binding protein (C4BP)alpha and beta expression in rat hepatocytes by lipopolysaccharide and interleukin-6.	M. Kishiwada	肝胆膵外科
Disease of Colon and Rectum (2008. 4)	Surgical intervention for neonatal and infantile-onset severe colonic Crohn's disease: report of three cases.	K. Uchida	小児外科
Annals of Surgical Oncology (2008. 7)	Soluble intercellular adhesion molecule-1 as a prognostic marker for stage II colorectal cancer patients. Ann Surg Oncol.	Y. Toyama	消化管外科
International Journal of Oncology (2008. 6)	Mechanism of resistance to chemoradiation in p53 mutant human colon cancer.	J. Hiro	消化管外科
Surgery Today (2008. 8)	Simplification of total mesorectal excision with colonic J-pouch anal anastomosis for middle and lower rectal cancer: one surgeon's experience.	M. Kusunoki	消化管外科
Clinical Oncology (2008. 10)	Mitotic checkpoint genes, hSMAD2 and BubR1, in oesophageal squamous cancer cells and their association with 5-fluorouracil and cisplatin-based radiochemotherapy.	K. Tanaka	消化管外科
Plast Reconstr Surg (2008. 11)	Efficacy of dermabond for closing lymphatic leakage after resection and OK-432 treatment of a lymphangioma.	K. Uchida	小児外科
Journal of Gastroenterology (2008. 10)	Neutrophil-related immunoinflammatory disturbance in steroid-overdosed ulcerative colitis patients.	S. Yoshiyama	消化管外科
International Journal of Gynecological Cancer 18 181-184 2008	Carboplatin chemotherapy in a pregnant patient with undifferentiated ovarian carcinoma: case report and review of the literature.	T. Tabata	産婦人科
DIABETES RESEARCH AND CLINICAL PRACTICE 80 e9-e11 2008	Rapid overgrowth of a fetus after interruption of insulin therapy in a diabetic woman.	T. Sugiyama	周産母子センター
Cytopathology 19 28-33 2008	What is the best method of detecting endometrial cancer in outpatients?-endometrial sampling, suction curettage, endometrial cytology.	E. Kondo	産婦人科
Endocrinology 149(8) 3980-3988 2008	Overexpression of Thioredoxin-1 Reduces Oxidative Stress in the Placenta of Transgenic Mice and Promotes Fetal Growth via Glucose Metabolism.	T. Umekawa	周産母子センター
Cytopathology 2008	Fine needle aspiration cytology of malignant mixed tumour of the vulva.	T. Tabata	産婦人科
ANTICANCER RESEARCH 28 3971-3976 2008	Weekly Low-dose Paclitaxel and Carboplatin Therapy in Gynecological Cancer Patients with Venous Thrombosis.	T. Tabata	産婦人科
J Thromb Haemost 2008 Jun	Protease activated receptor 1 activation of platelet is associated with an increase in protein kinase CK2 activity.	Y. Komada	小児科
Circulation 2008 Apr	Images in cardiovascular medicine. Fatal pulmonary lymphangiectasia manifesting after repeated surgeries for intractable chylopericardium and chylothorax in a 20-month-old girl.	Y. Mitani	周産母子センター
Cardiovasc Thorac Surg 2008 Apr	Pulmonary artery growth after Norwood and bidirectional Glenn procedure Interact.	Y. Mitani	周産母子センター
Pediatr Blood Cancer 2008 Sep	Recurrent melanotic neuroectodermal tumor in the orbit successfully treated with resection followed by pediculated periosteal flaps.	H. Hori	小児科

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int 2008 Jun	Persistent lung shadow in an infant with ventricular septal defect and partial anomalous pulmonary venous connection associated with pulmonary venous obstruction.	Y. Mitani	周産母子センター
Exp Hematol 2008 Oct	Resistance to TRAIL-induced apoptosis caused by constitutional phosphorylation of Akt and PTEN in acute lymphoblastic leukemia cells.	Y. Komada	小児科
J Thorac Cardiovasc Surg 2008 Jul	Atrial natriuretic peptide gene transfection with a novel envelope vector system ameliorates pulmonary hypertension in rats.	Y. Mitani	周産母子センター
J Pediatr Hematol Oncol 2008 Dec	Early detection of breakthrough trichosporonosis by serum PCR in a cord blood transplant recipient being prophylactically treated with voriconazole.	T. Kumamoto	小児科
Pediatr Int 2009 Mar	Quantitative detection of HCMV DNA in saliva from infants and breast milk by real time PCR assay.	Y. Komada	小児科
J Thorac Cardiovasc Surg 2009 Mar	Removal of prostaglandin E2 and increased intraoperative blood pressure during modified ultrafiltration in pediatric cardiac surgery.	Y. Mitani	周産母子センター
Exp Dermatol. 2009 Mar 16	Pilomatricoma can differentiate not only towards hair matrix and hair cortex, but also follicular infundibulum, outer root sheath and hair bulge.	I. Kurokawa	皮膚科
J Dermatol. 2009 Feb;36(2):86-9	Case of creeping disease treated with ivermectin.	Y. Senda	皮膚科
Arch Dermatol Res. 2009 Feb;301(2):151-7	Administration of Ag85B showed therapeutic effects to Th2-type cytokine-mediated acute phase atopic dermatitis by inducing regulatory T cells.	H. Mori	皮膚科
Int J Mol Med. 2008 Jul;22(1):43-8	Protective role of interleukin-18 against Fas-mediated liver injury.	N. Yamamoto	皮膚科
Arch Dermatol Res. 2008 Aug;300(7):343-52.	Enhanced production and secretion of glial cell line-derived neurotrophic factor and nerve growth factor from the skin in atopic dermatitis mouse model.	K. Tokime	皮膚科
J Dermatol Sci. 2008 Jul;51(1):19-29	Freshly isolated Langerhans cells negatively regulate naive T cell activation in response to peptide antigen through cell-to-cell contact.	Y. Imai	皮膚科
Urology View (2008.12)	特集 副腎腫瘍Update : 副腎腫瘍に対するRadiofrequency凝固療法	K. Arima	腎泌尿器外科
泌尿器外科 (2008.9)	解放手術からミニマム創内視鏡下手術への移行 -根治的腎摘除術におけるミニマム創内視鏡下手術と腹腔鏡下手術との比較-	N. Soga	腎泌尿器外科
泌尿器科紀要 (2008.9)	抗凝固療法施行症例に対する光選択式前立腺蒸散術 (PVP) の臨床成績	Y. Hori	腎泌尿器外科
International Journal of Urology (2008.11)	Comparison of radical nephrectomy under the minimal incision with portless endoscopic surgery (PLES) versus transperitoneal laparoscopic surgery.	N. Soga	腎泌尿器外科
International Journal of Urology (2008.11)	Photoselective Vaporization of the Prostate (PVP) Using High Power (80W) KTP Laser. -One year follow-up of the first 101 patients in Japan-	Y. Hori	腎泌尿器外科
Current Eye Res (2008.12)	The effect of the Rho-associated protein kinase inhibitor, HA-1077, in the rabbit ocular hypertension model induced by water loading.	K. Ikesugi	眼科
Current Eye Res (2009.1)	The effect of the H-1152P, a potent Rho-associated coiled-formed protein kinase inhibitor, in the rabbit normal and ocular hypertension eyes.	M. Nishio	眼科
J C B (2008.9)	The keratin-binding protein Albatross regulates proliferation of epithelial cells.	M. Sugimoto	眼科
日本血管内治療学 会誌 9(1):4- 10, 2008	E D コイル10タイプを用いた脳動脈瘤コイル塞栓術の臨床評価	H. Sakaida	脳神経外科
Surg Neurol. 70(3):279- 85, 2008	Periprocedural hemodynamic instability with carotid angioplasty and stenting.	M. Taha	脳神経外科
Brain Res 1241:188-92, 2008	Stereo-selective neuroprotection against stroke with vitamin A derivatives.	Y. Satou	脳神経外科
Brain Res 1213:140-51, 2008	Unilateral hippocampal CA3-predominant damage and short latency epileptogenesis after intra-amygdala microinjection of kainic acid in mice.	M. Mouri	脳神経外科

雑誌等名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Neuroscience 26 (12):1387-1390, 2008	脳動脈瘤の脳血管内外科的治療法 脳血管内手術 の歴史	H. Sakaida	脳神経外科
Progress in Medicine, 28(10): p2566-2568, 2008	無症候性錐体部内頸動脈狭窄症に対するシロスタゾール（プレタール）の使用経験	N. Touma	脳神経外科
救急医学 32: 1561-1566, 2008	頸部頸動脈狭窄症に対する急性期治療 頸動脈ステント	K. Hamada	脳神経外科
Family Medicine (2008. 4)	Which medical interview behaviors are associated with patient satisfaction?	Y. Takemura	総合診療科
J Gene Med (2008)	Bax mRNA therapy using cationic liposomes for human malignant melanoma.	T. Tagawa	歯科口腔外科
口腔組織培養学会誌 (2008)	悪性黒色腫細胞へのphosphodiesterase2A遺伝子導入	T. Murata	歯科口腔外科
日本検査血液学会雑誌 2008:9(3):379-385	血栓・止血異常症診療センターにおける血栓性素因の診療	H. Wada	臨床検査医学
Eur Heart J. 2009 Feb;30(4):444-52	Regional myocardial perfusion reserve determined using myocardial perfusion magnetic resonance imaging showed a direct correlation with coronary flow velocity reserve by Doppler flow wire.	H. Sakuma	画像診断科
J Magn Reson Imaging. 2009 Jan;29(1):205-10	Absolute blood contrast concentration and blood signal saturation on myocardial perfusion MRI: estimation from CT data.	M. Ishida	画像診断科
Eur Radiology 2008 Dec;18:2808	Diagnostic accuracy of stress myocardial perfusion MRI.	K. Kitagawa	画像診断科
Cardiovasc Intervent Radiol. 2009 Jan;32(1):70-5.	Percutaneous radiofrequency ablation of painful spinal tumors adjacent to the spinal cord with real-time monitoring of spinal canal temperature.	A. Nakatsuka	I V R 科

計 130件